

### 3 身近な自然

#### 3-1 身近な野生生物調査

##### 学習のねらい

学校や家の身近な野生生物(動物や植物)を観察し、横須賀市内に住む野生生物への理解を深める。

##### プログラムの概要《学習形式：観察・実験》

野外に出て、野生生物を観察し、種類ごとの個体数を数える。別の場所でも同様の観察を行い、その結果と合わせ、横須賀市の地図に野生生物の種類と個体数をマークしていく。

学習場所	野外、教室(会議室等)
所要時間	3時間
対象人数	クラス・団体単位
対象年齢	小学校中学年以上
準備するもの	筆記用具、地図、マジック、シール、黒板(ホワイトボード)、カメラ
キーワード	自然環境
関連教科等	理科

##### 学習の進め方

###### 1. 導入

野生生物とは何かを説明する。

その際、市内や周辺の海や山で見られる野生生物についても説明する。

横須賀市には海、山、住宅地などがあり、それぞれに適応した野生生物が分布していることを伝える。

###### 2. 調査1

野外に出て、野生生物の個体数を数える。

学習者はどの場所でも良いので、10分間程度、

1人で静かにその場所で観察を行なう。

野生生物の名前がわからない場合にはスケッチをしたりカメラで撮影する。

###### 3. 調査2

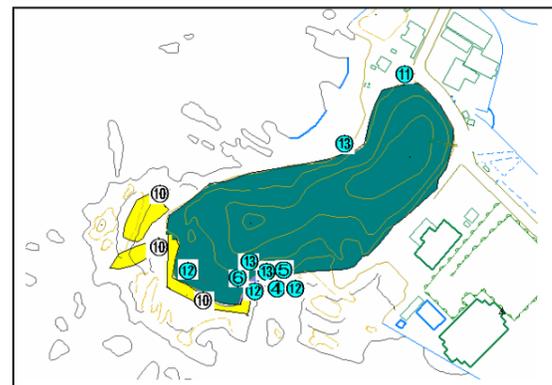
市内で多くの野生生物がいる場所(例、天神島臨海自然教育園、猿島、鷹取山、大楠山、馬堀自然教育園)へ行き、調査1と同じ手順で観察を行なう。

さらに条件の違ういろいろな場所で観察を行うのも良い。

###### 4. 調査のまとめ

調査1と調査2の結果を持ち帰り、地図上にその結果をマークしていく。

野生生物の種類ごとにシールの色を変え、観察した個体の数をシールで貼る。



地図作成例

###### 5. 考察

調査結果をマークした地図を見て、それぞれの観察ポイントにおける特徴や傾向を話し合う。

調査地点の環境と観察された野生生物との関連にも着目してみる。

##### 発展

同様の調査を、同じ地点で季節を変えて実施する。季節によって、観察される野生生物の種類で同じもの、異なるものはあるだろうか。

##### 参考

###### 帰化動物

他の地域から人間によって持ち込まれ、やがて人間の手を離れて野生化し、自然増殖を始めた外来の動物を帰化動物と呼びます。近年は在来種など自然環境への圧迫や、人間社会に対する「害獣」となってしまうケースが多く、問題化しているケースもあります。

日本では、アライグマ、アカミミガメ、ブラックバス、ブルーギル等が代表的な帰化動物です。

横須賀市でもタイワンリスやアライグマが野生化し、農業・生活環境への被害、生態系への影響や人への危害を及ぼすため、深刻な問題となっています。



捕獲されたアライグマ

###### 天神島の動植物

天神島は、多くの海浜植物や海岸動物が生息し、三浦半島に残された数少ない自然海岸の1つです。天神島と笠島および周辺の海域(約54ha)は、南方系海浜植物で「市の花」となっているハマオモト(ハマユウ)の分布の北限地として神奈川県天然記念物に指定されています。

###### 猿島の動植物

東京湾に浮かぶ唯一の自然島である猿島は、半島とは隔絶されているので島特有の生態系を持っています。三浦半島に残された数少ないタブノキの原生林や潮風に強い海岸植物も崖地に見られます。空中の湿度も高くなっているため、島内の林床にはシダ類がたくさん生育しています。

また、10月から3月の間は猿島で越冬するウミウのコロニーも見ることができます。



猿島のシダ類

###### 馬堀自然教育園で見られる動植物

主な動植物	
春	オオイヌノフグリ・カントウタンポポ・ヒメウズ・タチツボスミレ・ウグイス・メジロ・シジュウカラ
夏	ガクアジサイ・ホタル類・アオスジアゲハ・モンキアゲハ・ミンミンゼミ・アブラゼミ・ヒグラシ・オシオカラトンボ・オニヤンマ
秋	ハゼノキ・ヌルデ・イロハモミジ・シラガシ・アカガシ・コナラなどのどんぐりをつける木・マテバシイ・クヌギ・スダジイ
冬	留鳥:キジバト・シジュウカラ・アオゲラ・コゲラ・メジロ・ヒヨドリ 冬鳥:アオジ・アカハラ・シロハラ・ツグミ・ジョウビタキ・カケス 水辺:ハクセキレイ・キセキレイ・コサギ・カワセミ

###### ・アライグマによる被害を防ぐために

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/ryokusei/yasi/racoonriv.pdf>

###### ・猿島

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/cocoyoko/sea/sarushima/index.html>